

令和6年度第2回白馬村子ども・子育て会議 会議録		
招 集 年 月 日	令和6年11月28日(水)	
招 集 の 場 所	白馬村役場2階 庁議室	
開閉会の日時 及 び 宣 言	開 会	令和6年11月28日(木) 午後2時00分
	閉 会	令和6年11月28日(木) 午後3時40分
委 員		
白馬村教育委員会教育長職務代理	幅下 守	出
認定こども園しろうま保育園長	太田 智美	出
白馬村子育て支援ルーム長	武田 恵理	出
サンライズキッズ保育園白馬園長	鈴木 裕樹	出
民生児童委員協議会主任児童委員	岩井 良三	出
民生児童委員協議会受任児童委員	塩島 純子	出
白馬北小学校長	宮澤 和明	出
白馬南小学校長	菘輪 勝枝	出
信学会白馬幼稚園長	塩島 学	出
公募委員	上村 優衣	出
公募委員	ヒリアー 淳子	出
白馬北小学校PTA会長	降旗 大輔	出
白馬南小学校PTA会長	高田 潤	出
信学会白馬幼稚園PTA会長	谷相 奈弥	欠
認定こども園しろうま保育園保護者会長	濱田 聖	出
事 務 局		
子育て支援課長	内山 明子	出
子育て支援課係長	松澤 拓哉	出
子育て支援課主任	浅川 里佳	出

会議の要旨

1 開 会

子育て支援課 松澤が開会を宣言した。

2 あいさつ

会長 塩島学氏があいさつを行った。

3 協議事項

(1) 第3期白馬村こども計画（仮称）計画策定について

『資料2』に基づき、事務局松澤から説明を行い、第3章の基本理念、基本的方針、基本的施策について、現計画に新たに追加や削除した方がよい内容について意見を求めた。

[委員] こども計画策定について、白馬村教育大綱との兼ね合いはどのような形か。

[事務局] 3ページのとおり、こども計画とその他関連計画はともに整合を取る形として策定する。その中で言葉の表現等の全てで整合が取れることは難しいが、内容が矛盾しないように関係課等に確認し取りまとめていく。

[委員]多様な子どもが増えている。それは時代的な部分や白馬村ならではの部分（外国にルールを持っている子どもや県外から来ている子ども等）もある。そのような家族も手を取って子育てができるような計画が策定できればいい。

[委員]こども計画を今の子育て世代にどのように浸透させられるか。また今ある計画が本当に必要な人に届くにはどのように周知すべきか考える必要がある。

[委員]保育園の空き状況などの公私両方の施設情報がまとまって得られるツールがあれば、働きながら子育てをしている世帯としてありがたいと思う。

[事務局]ホームページ等で情報を整理し、一括で見られるように調整していく。

[委員]子どもを育てたいと思える環境を作ってほしい。観光業に従事していると、土日祝日が勤務、繁忙期は休めないため、保育園やファミリーサポートなどの今あるサービス以上に助けが必要になる。白馬村の働き手の状況を踏まえた上での、冬期に特化した保育の受け皿が欲しい。

[委員]核家族化が進む中、白馬村では友人間のコミュニティで子どもを預かり合って助け合える形があり助かっている。しかし、新しい子育て世帯の方はまだそのようなコミュニティがなく苦労している。保育園以外のサービスが充実すれば子育てがしやすくなると思う。

[委員]社会福祉協議会にてファミリーサポートがあるが、サポーターの登録減少により、需要と供給の不一致がある。助けを必要とする方にサービスが行き届くようにしていきたい。

[委員]世の中が驚くべきスピードで進み、白馬村ならではの多様性の動きは、良い面もあれば弊害もある。その中で5年というこども計画のスパンは長すぎる。計画の途中で見直しを入れるなどをし、その時々ニーズにあったものを提供できるようにしてほしい。

[委員]地域全体で子どもたちを見守り、支援していく姿を大切にしてほしい。白馬村には様々なノウハウを持った人が多いため、それを子どもたちに教える機会があれば、子どもたちの成長に有意義ではないか。また、ここに行けばお友達がいて、楽しいことができるという子どもたちの居場所が必要だと思う。

[委員]令和5年度から令和6年度にかけて、未満児定員を白馬幼稚園で6名、サンライズキッズ保育園で19名（冬期期間は弾力措置で22名）増員しているが、それとともに利用希望者も増加し、希望に沿えない状況が続いている。他に企業主導型保育施設等があれば、より多くのニーズに応えられると思う。

[委員] 19ページの(9)白馬村の子育ての環境・支援に対する評価と要望の①白馬村の子育ての環境や支援への満足度結果の「満足度が高い・やや高い・普通」を合わせて半分に満たないことは問題視すべきである。この結果を受けて、今後の計画で何に重点を置いていくのか検討していく必要がある。

事務局より、本計画の名称について、そのままが良いか、別の名称に変更した方が良いか意見を求めた。事務局としては、国と県に合わせた「こども計画」という名称を使用したい。
→事務局案で異議なしのため、決定。

事務局より委員に、『資料3』の提出を求めた。

(2) 子育て支援施設建設について

事務局より、アンケートや庁内で検討した内容で『資料4』を提示し、委員から意見を求めた。

[委員] フリースペースとはどのようなものか。

[事務局] 現時点でのイメージは、基本的にエントランスホールの一角に机と椅子があり、誰でも利用できる場所としたい。

[委員] この施設のモデルはあるのか。

[事務局] 規模感と内容的に松川村の「かがやき」をイメージしている。この施設は未就学児だけが使える施設ではなく、小学校から高校生、そして大人も利用できる施設になればいいと考えている。施設の規模や安全面等の観点から、運用については利用時間を区切る等の工夫が必要になるが、子どもから大人まで利用できる施設にという方針について承認いただきたい。

→異議なし。セキュリティ面が守られるのであれば、多世代の人が集まれる場所になればいいと思う。

(3) その他

特になし。

4 その他

次回第3回子ども・子育て会議の日程案 令和7年1月10日(金)午後2時から

5 閉会

子育て支援課 松澤が閉会を宣言した。